

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	あり
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん とうきょうふいはもにーこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団		<a href="https://www.tpo.or.jp/">https://www.tpo.or.jp/</a>
代表者職・氏名	理事長 三木谷 浩史		
制作団体所在地	〒 163-1408	最寄り駅(バス停)	京王新線「初台」駅
	東京都新宿区西新宿3-20-2東京オペラシティタワー8階		
電話番号	03-5353-9521		
ふりがな 公演団体名	とうきょうふいはもにーこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	東京フィルハーモニー交響楽団		同上
代表者職・氏名	同上		
公演団体所在地	〒	最寄り駅(バス停)	
	同上		
制作団体 設立年月	明治44年3月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	別添		別添
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	事業部 大谷絵梨奈
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	工藤真実
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:e-otani@tpo.or.jp">e-otani@tpo.or.jp</a>		

<p><b>制作団体沿革・ 主な受賞歴</b></p>	<p>明治44年に名古屋に発足した音楽隊を母体として、昭和13年12月に「中央交響楽団」を結成。昭和23年4月に「東京フィルハーモニー交響楽団」となり、昭和27年12月1日に財団法人として認可を受ける。平成24年4月1日に公益財団法人へ移行。日本で最も古い100余年の歴史と伝統を誇るオーケストラ。約160名のメンバーをもち、シンフォニーオーケストラとオペラ等の劇場オーケストラの両機能を併せもつ日本を代表するオーケストラ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者にアンドレア・バッティストーニ、桂冠指揮者に尾高忠明、大野和士、ダン・エッティンガー、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフ、アソシエイト・コンダクターにチョン・ミンを擁する。</p> <p>Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティコンサートホール、サントリーホールでの「定期演奏会」や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」、副理事長黒柳徹子がお話ししながら終戦の日に開催する「ハートフルコンサート」、「第九特別演奏会」「ニューイヤーコンサート」など、クラシック音楽を広く普及させる主催公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてのオペラ・バレエ演奏、『NHKニューイヤーオペラコンサート』や『ブラボー！オーケストラ』『名曲アルバム』『クラシックTV』『題名のない音楽会』『東急ジルバスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあ！』などの放送演奏により、ホールに来場できない聴衆に音楽を提供し、国内外の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。</p> <p>令和2～3年のコロナ禍における取り組みでは、MBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ1年半の闘い』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。</p> <p>平成元年にBunkamuraオーチャードホールとプロのオーケストラとして日本で初めてフランチャイズ契約を締結。また、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。</p> <p>海外公演も積極的に行い、平成26年3月には創立100周年記念事業としてアジア・欧米6か国を巡るワールド・ツアーを開催。平成27年12月に日韓国交正常化50周年を記念してチョン・ミョンフン指揮のもとソウルと東京の2都市で「日韓友情『歓喜の第九』」演奏会を、平成29年12月には上海における日中国交正常化45周年記念演奏会、令和6年5月にチョン・ミョンフン指揮のもと韓国3都市4公演でのツアーを行い国内外の注目を集めた。</p> <p>昭和62年度芸術祭賞、平成7年度芸術祭大賞、平成16年度芸術祭優秀賞、また三善晃管弦作品シリーズ「音楽の未来遺産」3公演のライブCD「三善晃の音楽」(カメラータ・トウキョウ／平成20年10月)が平成20年度芸術祭優秀賞を受賞した。他に、昭和59年度に第8回音楽の友社賞と第8回ゆとりすと賞(味の素社)、平成13年度ミュージック・ペンクラブ賞(クラシック部門／日本人アーティスト)、令和3年「OPUS KLASSIK 2021」交響曲部門(20-21世紀)(指揮:アンドレア・バッティストーニ)、令和4年「第20回三菱UFJ信託音楽賞 奨励賞」(指揮:チョン・ミョンフン／2022年10月定期演奏会におけるヴェルディ歌劇『ファルスタッフ』演奏会形式上演)などを受賞している。</p> <p>2024年6月定期演奏会をもって「第1000回定期演奏会」を迎えた。</p> <p>年間約400公演程の高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開し、クラシック音楽の普及に努めている。</p>		
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>別添</p>		
<p><b>特別支援学校等 における公演実績</b></p>	<p>別添</p>		
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/QSzhwXidJxI">https://youtu.be/QSzhwXidJxI</a></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
	<p>PW:</p>		

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容 【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	-

企画名 オーケストラ公演 <東京フィルがやってきた！>

企画のねらい 「東京フィルがやってきた！」は、ボディパーカッションの共演を通じて、クラシック音楽やオーケストラへの興味関心を引き出し、単なる鑑賞や楽器演奏に留まらず、児童が主体的に参加し、協働しながら本公演を作り上げる達成感を体感することができます。また、フィンランディア・プログラムでは、「自分たちの学校や住んでいる地域の良いところ・自慢できるところ」をキーワードとして、オリジナル歌詞を作成することで、学校や地域への愛着を培い、郷土愛ひいては祖国愛を育むことができます。

演目概要・演目選択理由 日本は西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック作品を中心に選曲しました。楽器紹介や指揮体験コーナーでオーケストラを身近に体感していただき、より音楽に興味を持って頂けるよう、立体的に構成し、工夫しております。ボディパーカッションには、身体表現などで取り上げられるようなポップスや流行曲ではなく、音楽の鑑賞教材として取り入れられている「ベートーヴェンの作品(交響曲第5番「運命」)」を取敢て取り上げ、演奏者と共に身体を動かして音を奏でることで、自ずと音楽への理解が深まることを目指します。また、美しい旋律に、日本を含め世界各国の言語で歌詞が付けられている交響詩「フィンランディア」を用いて、児童がオリジナルの歌詞を創作、学校オリジナルの「フィンランディア」を完成させ合唱することで、児童の自己表現力、協働作業によるコミュニケーション能力と協調性を育むことを目指します。

児童・生徒の参加又は体験の形態

- ・指揮者体験コーナー  
各校2～3名の児童に、ブラームス:ハンガリー舞曲第5番の一部分を指揮する事により、「スペシャリスト(個)」の集団であるオーケストラをとり仕切るマエストロ(指揮者)の役割を体験してもらいます。
- ・ボディパーカッション  
音楽の原点である打楽器を児童自身の身体で体験することで、音楽への新たな興味を促します。老若男女問わず広く知られているクラシックの名曲「ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」第1楽章」を取り上げ、児童自身の身体を動かし能動的に参加することで、クラシックやオーケストラの魅力を発見してもらいます。
- ・フィンランディアに歌詞を作ろう！  
学校のみんで作ったオリジナルの歌詞をオーケストラと一緒に奏でられるよう、歌詞の元となるキーワードを出し合います。子供たちが周りの人たちと共に考え、学び、自分たちの学校や住んでいる地域の良いところ・自慢できるところを再確認し、豊かな発想力を養います。

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)
		鑑賞人数目安	同上

本公演演目  
原作/作曲  
脚本  
演出/振付

【小学校プログラム】 ※中学校プログラムは別添

オープニング  
♪ロッシニー: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」

楽器紹介  
♪ロジャース: 映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」

指揮者体験  
♪ブラームス: ハンガリー舞曲第5番より  
共演① カラダで「運命」を表現しよう！  
♪シャーマン兄弟: 小さな世界(共演前の準備)

♪ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より第1楽章  
共演② フィンランディアに歌詞をつけよう！  
♪シベリウス: 交響詩「フィンランディア」  
オーケストラの伴奏で学校を歌おう！  
♪各校校歌  
(Enc.) ♪外山雄三: 『管弦楽のためのラプソディー』より「八木節」

公演時間 90 分

出演者 指揮者: 三ツ橋敬子、中田延亮、横山奏、齋藤由香理 他  
司会: 山本愛香、塚本江里子 他  
管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団(2管10型)  
※オーケストラメンバーは別添「東京フィルハーモニー交響楽団 出演表」を参照下さい。

演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名

三ツ橋敬子(指揮): 東京藝術大学及び同大学院、ウィーン国立音楽大学、キジアーナ音楽院を修了。第10回アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。神奈川県立音楽堂「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ!」や、石川県立音楽堂「ジュニアのためのコンサート」等を企画制作より携わり、子供たちに多彩な音楽体験を届ける活動を精力的に行っている。

山本愛香(司会): 桐朋学園大学(ピアノ専攻)卒業。ピアノ・打楽器・笛・歌など20種類以上の楽器を操る型破りな音楽家。また作曲家として、NHKラジオへの楽曲提供や東宝芸能の舞台音楽を担当。司会者として、BSフジ「Beポンキッキーズ」、数々のオーケストラのコンサートに出演。これまで日本各地で10万人以上にボディパーカッションを指導。

塚本江里子(司会): 東京藝術大学音楽部声楽科卒業。同大学大学院修士課程オペラ科修了。BSフジ「ポンキッキーズ」第11代歌のおねえさんを務めた。オペラ・ミュージカル・司会・ボディパーカッションなど、多彩な表現で音楽交流をしている。音楽ワークショップの制作や論語指導士としても活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。鹿児島女子短期大学児童教育学科特任講師。音楽ワークショップ『ミーゴのまほう』をYouTubeで配信中!

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者:	61 名	運搬	積載量:	4 t
	スタッフ:	5 名		車長:	8 m
	合計:	66 名		台数:	1 台

<b>本公演</b> <b>会場設営の所要時間</b> <b>(タイムスケジュール)</b> <b>の目安</b>	<b>前日仕込み</b>		有	<b>前日仕込み所要時間</b>		2	時間程度
	<b>到着</b>	<b>仕込み</b>		<b>上演</b>	<b>内休憩</b>	<b>撤去</b>	<b>退出</b>
	8:30	8:30～11:00		13:00	無	17:30	18時00分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
<b>本公演</b> <b>実施可能日数目安</b>  <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月
	4日		4日		0日		6日
	10月		11月		12月		1月
	0日		4日		3日		7日
<b>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</b>					<b>計</b>	28日	
<b>公演に係るビジュアルイメージ</b> <b>(舞台の規模や演出がわかる写真)</b>  <b>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</b>	<b>&lt;ワークショップの様子&gt;</b>						
				←オープニングの様子 (ワークショップでは、ピアノと打楽器は学校の楽器をお借りして演奏しています)  ボディパーカッションの練習の様子。 東京フィルの演奏者も演奏しながら、一緒に練習します。			
							
	<b>&lt;本公演の様子&gt;</b>			← 歌詞の元となるキーワード出しをしている様子。 東京フィルの演奏者も児童と一緒に考えます。			
							
<b>著作権、上演権利等の許諾状況</b>	<b>各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否</b>		該当なし		<b>該当コンテンツ名</b>		
	<b>該当事項がある場合</b>	<b>権利者名</b>			<b>許諾確認状況</b>	内部保有	

別添	なし
----	----

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】

ワークショップのねらい	<p>本公演での共演に際しての準備はもちろんのこと、少人数で学校へ伺うワークショップでは、演奏者ひとりひとりのバックグラウンドや、演奏家になるまでの心境の変化、どのように努力を積み上げてきたかということについてもお話しします。</p> <p>プロの演奏家の小学生時代を通じて、児童が“将来のなりたい自分”や、“夢を見つけ、叶え、より良い社会と幸福な人生を歩んでいける力”を身につけていただく機会となることを目標としています。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>《ワークショップの実施形態》</p> <p>1)ミニ・コンサート オーケストラや楽器の話などを交えながら、本物の楽器の音色や歌唱を聴いていただきます。</p> <p>2)自己表現:みんなで歌おう 音楽を通して自分を表現することを、全員合唱を行うことによって理解を促します。</p> <p>3)オリジナルの歌を作ろう 交響詩「フィンランディア」の一部分に学校オリジナルの歌詞を作ります。 そのための歌唱指導や発想の仕方を指導致します。 ※本公演と連動した成果をあげるため、約1～2ヶ月前に派遣者数名が各学校へ赴きます。</p> <p>《ワークショップの内容》</p> <p><u>オープニング</u> ♪ハチャトゥリアン:バレエ『ガイーヌ』より「剣の舞」</p> <p><u>楽器紹介</u> オーケストラを代表して、弦楽器(ヴァイオリンorヴィオラ)・管楽器(ホルン)・打楽器の演奏者がそれぞれのグループの楽器の見た目や特徴、音の出る仕組みを紹介します。 ♪演奏者が任意の曲目を1曲演奏します。</p> <p><u>ワークショップ①(みんなの「フィンランディア」の歌詞を考えよう!)</u> ※各校で任意の合唱曲を1曲披露してもらいます。 ※司会者が歌詞を朗読、歌詞に込められた作詞家の思いや情景を思い浮かべながら再度合唱。 ♪シベリウス:交響詩「フィンランディア」 ※学校や地域の“良いところ”や“自慢できるところ”をキーワードとして書き出します。</p> <p><u>ワークショップ②(カラダで「運命」を表現しよう!)</u> ※共演前の準備 ♪シャーマン兄弟:小さな世界 ※振り付けの練習 ♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より第1楽章</p> <p>(Enc.)メインストリート・エレクトリカルパレード</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	特になし		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)	-	小学生(中学年)	-
	小学生(高学年)	-	中学生	○
企画名	オーケストラ公演 《東京フィルがやってきた！》			
企画のねらい	「東京フィルがやってきた！」は、ベートーヴェン作曲：交響曲第9番「合唱付き」の第4楽章を通じて、積極的にコミュニケーションが図れるような体験を促します。原語のドイツ語を英語や日本語に訳しながら歌詞解説をし、歌詞の意味を学びます。同時に発音練習をすることで、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、国際社会で役立つ思考力・判断力・表現力等を養います。			
演目概要・演目選択理由	日本で最も親しまれているクラシック曲を中心に、ベートーヴェン作曲：交響曲第9番「合唱付き」を共演のメインに選曲しました。世界初演から200年、日本初演から100年以上、演奏・歌い継がれている「第九」をドイツ語で合唱します。外国語を学ぶ際に必要不可欠な「言語活動に主体的に取り組む姿勢」を養うことを目的とします。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮者体験コーナー 各校2～3名の生徒に、ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章の一部分を指揮する事により、「スペシャリスト(個)」の集団であるオーケストラをとり仕切るマエストロ(指揮者)の役割を体験してもらいます。</li> <li>・「第九」合唱 ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」第4楽章を原語のドイツ語で合唱します。第4楽章(約23分)の合唱部分にフォーカスをあて約7分間の縮小版で共演します。英語に加えその他の外国語に触れることで、様々な言語やその背景にある文化に対する理解を深め、積極的なコミュニケーションを図ろうとする姿勢を養う契機となります。</li> <li>・吹奏楽部との共演 ヴェルディ：歌劇『アイーダ』より「凱旋行進曲」を吹奏楽部と共演できるよう、オリジナルの編曲Ver.を用意しています。間近にプロの演奏家の演奏技術や息遣いを感じ・学ぶことができます。生徒が主体的に将来のなりたい自分を見つけるきっかけや、意思・意欲を培う経験をしていただくことができます。</li> </ul>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)	
		鑑賞人数目安	同上	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【中学校プログラム】</p> <p>オープニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♪ロッシェニ：歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」</li> </ul> <p>楽器紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♪ロジャース：映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」</li> </ul> <p>指揮者体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章</li> </ul> <p>共演「第九」をドイツ語で歌ってみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♪ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」第4楽章</li> </ul> <p>共演 吹奏楽部との共演(学校任意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♪ヴェルディ：歌劇『アイーダ』より「凱旋行進曲」</li> </ul> <p>オーケストラの伴奏で校歌を歌おう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♪各校校歌</li> </ul> <p>(Enc.)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♪外山雄三：『管弦楽のためのラプソディー』より「八木節」</li> </ul>			
出演者	指揮者：三ツ橋敬子、中田延亮、横山奏、齋藤由香理 他 司会：塚本江里子 他 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団(2管10型) ※オーケストラメンバーは別添「東京フィルハーモニー交響楽団 出演表」を参照下さい。			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>三ツ橋敬子(指揮)：東京藝術大学及び同大学院、ウィーン国立音楽大学、キジアーナ音楽院を修了。第10回アントニオ・ベドロッチェ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。2009年NewsweekJapan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。神奈川県立音楽堂「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ！」や、石川県立音楽堂「ジュニアのためのコンサート」等を企画制作より携わり、子供たちに多彩な音楽体験を届ける活動を精力的に行っている。</p> <p>塚本江里子(歌)：東京藝術大学音楽部声楽科卒業。同大学大学院修士課程オペラ科修了。BSフジ「ボンキッキーズ」第11代歌のおねえさんを務めた。オペラ・ミュージカル・司会・ボディパーカッションなど、多彩な表現で音楽交流をしている。音楽ワークショップの制作や論語指導士としても活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。鹿児島女子短期大学児童教育学科特任講師。音楽ワークショップ『ミーゴのまほう』をYouTubeで配信中！</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等	出演者： 64 名 スタッフ： 5 名 合 計： 69 名	運搬	積載量： 4 t 車 長： 8 m 台 数： 1 台	

公演時間 90 分

<b>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	前日仕込み		有	前日仕込み所要時間		2	時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	8:30	8:30~11:00		13:00	無	17:30	18時00分	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。							
<b>本公演 実施可能日数目安</b>  <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月	
	4日		4日		0日		6日	
	10月		11月		12月		1月	
	0日		4日		3日		7日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		28日
<b>公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)</b>  <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>	<b>&lt;ワークショップの様子&gt;</b>  <p>↑「第九」の練習の様子 歌詞カードをみながら、ドイツ語で歌う練習をします。</p>							
	<b>&lt;本公演の様子&gt;</b>  							
<b>著作権、上演権利等の 許諾状況</b>	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否		該当なし		該当コンテンツ名			
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況	内部保有		

別添	なし
----	----

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】

ワークショップのねらい	<p>本公演での共演に際しての準備はもちろんのこと、少人数で学校へ伺うワークショップでは、演奏者ひとりひとりのバックグラウンドや、演奏家になるまでの心境の変化、どのように努力を積み上げてきたかということについてもお話しします。</p> <p>プロの演奏家の小学生時代を通じて、児童が“将来のなりたい自分”や、“夢を見つけ、叶え、より良い社会と幸福な人生を歩んでいける力”を身につけていただく機会となることを目標としています。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>《ワークショップの実施形態》</p> <p>1)ミニ・コンサート オーケストラや楽器の話などを交えながら、本物の楽器の音色や歌唱を聴いていただきます。</p> <p>2)外国語活動と自己表現:ドイツ語で歌おう ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」より第4楽章 音楽を通して自分を表現すること、全員合唱を行うことによって理解を促します。 原語(ドイツ語)で合唱するため、歌唱指導やドイツ語発音の仕方を指導致します。 ※本公演と連動した成果をあげるため、約1～2ヶ月前に派遣者数名が各学校へ赴きます。</p> <p>《ワークショップの内容》</p> <p>オープニング ♪ビゼー:歌劇『カルメン』より前奏曲</p> <p>楽器紹介 オーケストラを代表して、弦楽器(ヴァイオリンまたはヴィオラ)・管楽器(ホルン)・打楽器の演奏者がそれぞれのグループの楽器の見た目や特徴、音の出る仕組みを紹介します。 ♪演奏者が任意の曲目を1曲演奏します。</p> <p>ワークショップ(「第九」をドイツ語で歌おう！) ※司会者が歌詞を朗読、ドイツ語を英語や日本語に訳しながら歌詞の意味を確認します。 ※ドイツ語特有の発音などの練習。演奏と共にドイツ語で歌唱する練習をします。 ♪ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」より第4楽章</p> <p>オーケストラの名曲を鑑賞しよう！ ※ワークショップの締め、名曲を鑑賞していただきます。 ♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番</p> <p>(Enc.)シャーマン兄弟:小さな世界</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	特になし		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。



別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b> 2020年からの新型コロナウイルス感染症により、全世界が未曾有の事態となりました。文化芸術活動は世界中で一気に冷えこみましたが、2023年度を迎える頃から感染症による制限が緩和され、学校では元気に遊び学ぶ子供たちの声が響くようになりました。長く活動制限をかけられていた巡回公演事業も本来の実施形態に戻りつつあり、私たち文化芸術団体は、その真価を発揮する活動を続けてまいります。</p> <p>◆音楽を通して生きる力を育む コロナ禍を経てインターネットの役割は大きく変化し、以前よりも時間や距離、国境を越えて簡単にコミュニケーションを図る等、情報収集や情報発信ができるようになり、子供たちの豊かな創造力・想像力・思考力・コミュニケーション能力の向上がますます求められています。 「音楽」は、瞬間的に相互の関係を捉え、自分で考え、対話などのコミュニケーションを図りながら自らの可能性を発揮し学ぶ機会を創出します。 特にワークショップでは、子供たちと直接触れ合うことを重視し、プロの演奏家としての心構えや演奏技術を間近に感じることができ、演奏家の幼少期からの体験を通じて子供たち一人一人の将来の「なりたい自分」を考える機会を促します。 本公演では、ワークショップから継続的に取り組んだ「歌詞作成～合唱練習」と、ボディパーカッションをフル・オーケストラと共演することで、自ずとクラシック音楽に興味を向け、新しい知識や発見を得る機会となります。 このことから、子供たちの心や感性を育む「音楽芸術」は、今まさに必要不可欠であり、国内において文化的な地域格差なく本事業を継続して実施することの重要性を踏まえ、未来を担う子供たちに必要となる資質・能力の育成を図れるような公演を目指します。</p> <p>◆音楽普及活動・未来の聴衆育成のために 本事業の目的でもある子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図るため、児童・生徒と積極的に対話をしながら、オーケストラで使用される楽器の仕組みや演奏方法、音の大きさなどを知ることで、「本物」の音楽(芸術作品)への好奇心、探究心を育むことを目指します</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b> 当団は2014年から1度の採択期間延長を経て、2度のB区分採択をいただき、Aブロックを8年にわたり担当、2019年～2020年にはC区分採択もいただきました。Aブロックに加えてB,C,D,Eブロックを担当、2022年～2024年には再びB区分採択で中国地域を担当させていただきました。 これまでに培った経験を元に、まだ伺ったことのない地域の子供たちに当団のプログラムを体験いただきたいと考えております。</p> <p>◆映像作成によるアプローチ 学校で行うワークショップや本公演で児童との共演をより効果的なものとするために、インターネットやDVDなどを通して実施できるように映像資料を活用しています。 学校カリキュラムの時間に合わせた時間配分、概要説明などを簡潔明瞭にまとめ、指導される教員の方々が扱いやすいよう小学校の授業時間内で完結した内容に工夫しました。 学校で行ったワークショップの事後学習用ツールとしても使用できるため、本公演の効果を高めるための資料としても活用いただけます。 また、昨今普及が広がっているタブレット端末を使用して、都合によりワークショップを実施できなかった学年や、不登校の児童なども映像を通して本事業に参加することが可能です。</p> <p>◆広報活動 長らくB区分として学校巡回公演事業に採択されたことにより、地域ごとの特徴や特色を生かし、新たな学校や地域での信頼関係の構築ノウハウが身につく、本事業についての広報活動に貢献することができます。 これまでB区分団体として実施してきた、地域のマスメディアを巻き込んだ広報宣伝活動や、インターネット等の情報通信技術を活用した広報を引き続き行っていきます。 広報宣伝活動については、学校側とも協働して実施します。 日本全国の子供たちへ文化的な地域格差がなくなるよう、学校・地域・実演団体等の架け橋となる活動を継続してまいります。</p>
--	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】
制作団体組織	<p>役職員            [理事長] 三木谷浩史            [副理事長] 黒柳徹子            [専務理事] 石丸恭一            [常務理事] 工藤真実            [理事] 浮舟邦彦 大賀昭雄 大塚雄二郎 小山田隆 田沼千秋            玉木 林太郎 寺田琢 遠山敦子 野本弘文 韓昌祐 平井康文 宮内義彦            [監事] 岩崎守康 山野政彦            [評議員] 5名            [事務局] 21名</p> <p>団体構成員及び加入条件等            1) 団体構成員            [役員数] 23名            [団員] 136名            [団友] 67名            [事務局員] 22名</p> <p>2) 主な構成員            [名誉音楽監督] チョン・ミョンフン            [首席指揮者] アンドレア・パッティストーニ            [特別客演指揮者] ミハエル・プレトニョフ            [桂冠指揮者] 尾高忠明 大野和士 ダン・エッティンガー            [アソシエイト コンダクター] チョン・ミン</p>	

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】
学校等における 公演実績	<p>◆音楽鑑賞教室 教育委員会の委託による「音楽鑑賞教室」を毎年20公演程度開催。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、コンサートホールでのオーケストラによる音楽鑑賞教室が相次いで開催中止となった。その状況下でも、東京都世田谷区では音楽専科の教員の方々の熱心な行動により、区内全61校(のべ6500名の小学5年生対象)へ室内楽で生の音楽を届ける活動を実施できた。</p> <p>◆提携事業 東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市との提携事業の一環として、青少年向けのワークショップ・公演を開催している。</p> <p>◆子ども向け自主公演 2002年～2013年、自主事業「こども音・楽・館」を実施。新宿区、渋谷区等近隣区域の小学校において(養護学校含む)アウトリーチも行いました。</p> <p>◆文化庁巡回公演事業 平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」にてB区分採択(5年間)を受け、北海道・北東北地域を担当。さらに令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」でB区分(3年間)継続採択を受け同地域を継続して担当。これまで東日本大震災の被災地域を含め、110校で公演を実施しました。 B区分採択の業務である「事業の広報活動」に関しては、各地域の教育委員会等と連携し、学校とも連携しながら積極的に展開し、応募団体増加へ貢献しました。また、地域・一般の方々への事業告知として、合同開催校の促し、近隣の施設(特別支援学校や老人介護施設、保育園・幼稚園等)への声掛けを採択校を通じて行ったほか、地域新聞社やテレビ局へのアプローチに力を入れ広報宣伝活動にも注力しました。 また、C区分に関しては令和元年・2年度に採択を受け、小編成でも充実した内容を提案し、全国各地域の子供たちへ事業を展開しています。</p>	

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】
特別支援学校等における公演実績	◆平成26年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」にて、2校実施。 実施校:北海道白糠養護学校(釧路市)、岩手県立宮古恵風支援学校(宮古市)	
	◆平成27年度 長岡市との提携事業の一環として実施。 対象:新潟県立長岡聾学校 東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校:東京都立光明特別支援学校	
	◆平成28年度東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校:東京都立清瀬特別支援学校	
	◆平成29年度「Music Program TOKYO 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校:東京都立王子特別支援学校 長岡市との提携事業の一環として実施。 対象:長岡市立総合支援学校、長岡市立高等総合支援学校	
	◆平成30年度「Music Program TOKYO 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校:東京都立白鷺特別支援学校	
	◆令和元年度「Music Program TOKYO 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校:東京都立白鷺特別支援学校	
	◆令和2年度「Music Program TOKYO リラックス・パフォーマンス～世代、障害を越えて 楽しめるオーケストラ・コンサート～」 実施:東京文化会館・大ホール	
	◆令和2年度「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」 実施校:山梨県立盲学校、山梨県立特別支援学校桃花台学園	
	◆令和3年度「Music Program TOKYO Workshop Workshop!コンビビアル・プロジェクト 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校:東京都立八王子西特別支援学校、東京都立町田の丘学園山崎校舎 ※新型コロナウイルス感染症のため、室内楽での出演。	
	◆令和4年度「Music Program TOKYO Workshop Workshop!コンビビアル・プロジェクト 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校:東京都立城南特別支援学校、東京都立町田の丘学園本校舎 ※新型コロナウイルス感染症のため、室内楽での出演。	
◆令和5年度「Music Program TOKYO リラックス・パフォーマンス～オーケストラで味わう 音楽の森～」 実施:東京文化会館・大ホール		
◆令和6年度「Music Program TOKYO Workshop Workshop!コンビビアル・プロジェクト 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施予定校:東京都立町田の丘学園本校舎、東京立七生特別支援学校		
◆令和7年度「Music Program TOKYO リラックス・パフォーマンス」 実施予定:東京文化会館・大ホール		

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】
出演者	<p>コンサートマスター 近藤 薫 三浦 章宏 依田 真宣</p> <p>アシスタント・コンサートマスター 坪井 夏美</p> <p>第1ヴァイオリン 小池 彩織☆ 榎原 菜若☆ 平塚 佳子☆ 浅見 善之 浦田 絵里 景澤 恵子 加藤 光 巖築 朋美 坂口 正明 鈴木 左久 高田 あきの 田中 秀子 栃本 三津子 中澤 美紀 中丸 洋子 廣澤 育美 弘田 聡子 藤瀬 実沙子 松田 朋子</p> <p>第2ヴァイオリン 重岡 菜穂子◎ 藤村 政芳◎ 水鳥 路◎ 宮川 正雪◎ 高瀬 真由子☆ 石原 千草 出原 麻智子 入江 真歩 岩田 瑞加 太田 慶 葛西 理恵 佐藤 実江子 中村洋太 本堂 祐香 松岡野乃花 山代 裕子 吉田 智子 吉永 安希子 若井 須和子 渡邊 みな子</p> <p>ヴィオラ 小峰航一◎ 須田 祥子◎ 須藤 三千代◎ 加藤 大輔○ 今川 結☆ 杉浦 文☆ 伊藤 千絵 岡保 文子 曾和 万里子 高橋 映子 手塚 貴子 中嶋 圭輔 蛭海 たづ子 古野 敦子 村上 直子 森田 正治</p> <p>チェロ 金木 博幸◎ 服部 誠◎ 渡邊 辰紀◎ 黒川 実咲☆ 高麗 正史☆ 石川 剛 大内 麻央 太田 徹 菊池 武英 佐々木 良伸 長谷川 陽子 渡邊 文月</p> <p>コントラバス 片岡 夢児◎ 黒木 岩寿◎ 小笠原 茅乃 遠藤 柊一郎 岡本 義輝 小栗 亮太 熊谷 麻弥 菅原 政彦 田邊 朋美 中村 元優</p> <p>フルート 神田 勇哉◎ 斉藤 和志◎ さかはし 矢波 菅野 力</p> <p>オーボエ 荒川 文吉◎ 佐竹 正史◎ 岡本 彩香 杉本 真木 若林 沙弥香</p> <p>クラリネット アレクサンドロ・ベヴェリ ◎ 万行 千秋◎ 黒尾 文恵 鳥潟 さくら 林 直樹</p> <p>ファゴット 河野 星◎ チェ・ヨンジン◎ 廣幡 敦子◎ 井村 裕美 桔川 由美 森 純一</p> <p>ホルン 齋藤 雄介◎ 高橋 臣宜◎ 磯部 保彦 大東 周 小椋 陽咲 木村 俊介 佐藤 俊輝 田場 英子 塚田 聡 豊田 万紀 西川 優弥 山内 研自</p> <p>トランペット 川田 修一◎ 野田 亮◎ 古田 俊博◎ 杉山 真彦 箕輪 綾子</p> <p>トロンボーン 辻 姫子◎ 中西 和泉◎ 石川 浩 五箇 正明 藤田 恵輔 山内正博</p> <p>チューバ 大塚 哲也 荻野 晋</p> <p>ティンパニ&amp;パーカッション 岡部 亮登◎ 塩田 拓郎◎ 秋田 孝訓 木村 達志 鷹羽 香緒里 中村 勇輝 縄田 喜久子 船迫 優子 古谷 はるみ</p> <p>ハープ 梶 彩乃 田島 緑</p> <p>◎首席 ○副首席 ☆フォアシュペーラー</p>	